

1. 研究目的

国が違えば住宅や生活習慣が異なる。文献によると日本はアメリカの住宅から10年遅れた状態に近く、中国は日本の10年前に近いといった記述もあり、住宅の国際比較に関心をもった。そこでアジア圏の中国と韓国の集合住宅に視点をあて、歴史的住居の影響や生活習慣を含めた住文化に注目して考察した。

2. 調査対象

まずは本学の留学生センター、留学生課で留学生の出身および人数の把握をした。表1は、本学の留学生の人数である。

表1 本学の留学生数

	全体	韓国	中国	アメリカ
ファッション大学院大学	6	3	1	0
文化女子大学	392	171	142	0
短大		18	22	0
大学		140	102	0
大学院		13	18	0
文化服装学院	353	226	41	2
文化外国語専門学校	261	61	59	4
文化学園	1012	461	243	6

なお、地域による差が大きいため、今回は都市部を中心に考察することとした。

文化学園留学生センター調べ <2006. 10. 2のデータ>

3. 調査方法

【調査1】 文献調査

歴史的住居、住宅の変遷、文化背景などについて、本および研究論文（日本建築学会の論文や卒業論文等）の文献など…

【調査2】 統計データ調査

中国・韓国・日本の都市部における集合住宅を中心に、床面積、住宅価格等に関する統計データ調査

【調査3】 住文化に関するヒアリング調査

【調査4】 住宅の間取り調査

4. 調査概要

- ◆ヒアリング調査 対象 中国都市部（北京他）出身留学生 6人
韓国都市部（ソウル）出身留学生 7人

内容は…
家族構成や母国の住居面積などの基本事項。駐車料金のコスト。周辺環境を含む住環境。生活行為や習慣といった生活面。部屋の用途や使い方、文化・考え方の違い、価値観等。

◆間取り調査

住環境学科留学生に母国における実家の間取り図を書いてもらい、さらには帰省の際に室内の写真撮影を依頼した。

5. 考察の流れ

本研究は、間取り調査で書いてもらった間取り図をもとに文献や統計調査から明らかになっていることおよび、ヒアリングで明らかになったことを踏まえ考察した。

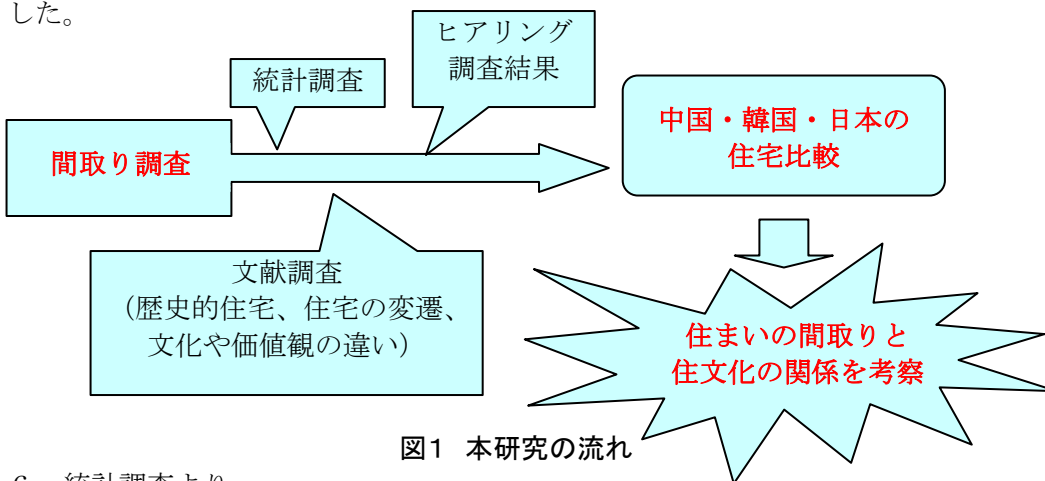


図1 本研究の流れ

6. 統計調査より

次の図は、中国・韓国・日本の集合住宅の値段および住宅価格について、数値をもとにグラフ化したものである。

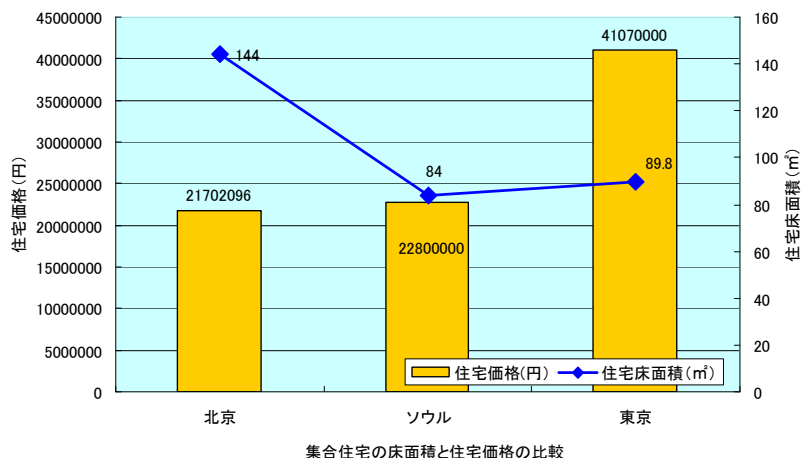


図2 集合住宅の床面積と住宅価格の比較 (7)(8)

北京の住宅床面積は144㎡に対して集宅価格が約2170万円。ソウルでは84㎡に対して約2280万円。東京は89.8㎡に対して4107万円である。さらにグラフの形から読み取ると、住宅価格を住宅床面積が超える形で差がかなり離れている北京では、面積が広い上に値段が安いといえる。ソウルでは住宅価格と住宅床面積の差がそれほどなく、バランスが取れているといえるのではないだろうか。東京は住宅床面積を住宅価格が大きく上回る形であり、面積が狭いうえに値段が高いといえる。また、東京と中国との差は約55㎡で約2000万の差である。

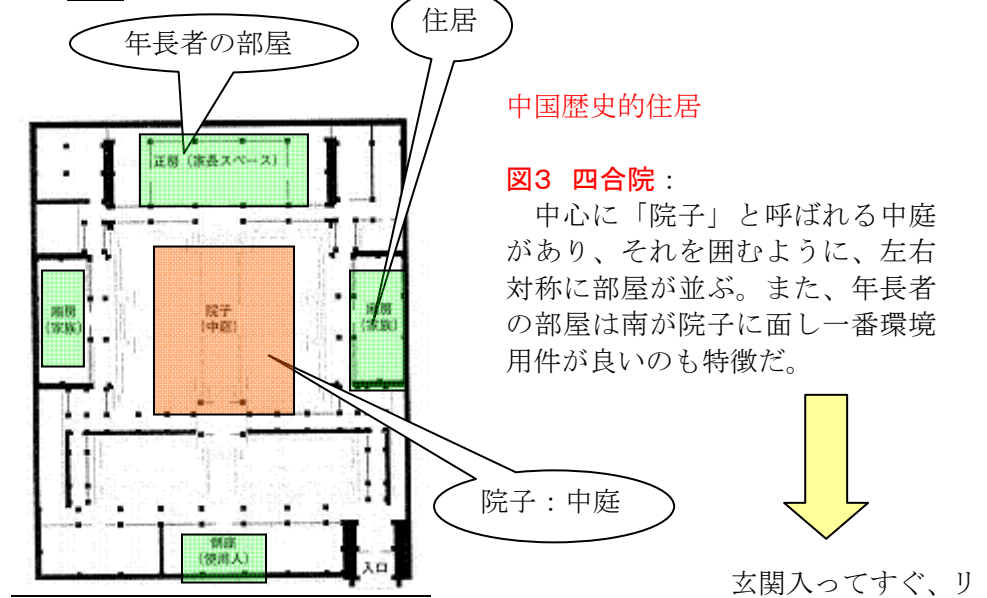
7. 文献調査より

中国・韓国・日本の面積や人口から経済成長率は外務省のHPから転載。また、衣・食の特徴を文献から加え基本データとした。

表2 3国の基本データ(文献1)~(6)

	中国	韓国	日本
国旗			
正式国名	中華人民共和国 People's Republic of China	大韓民国 Republic of Korea	日本国 Japan
成立	1949年10月1日	1948年	—
面積	約960万km ² 日本の約25倍	約9万9274km ² 日本の約4分の1	約37万7835km ² 世界60位
人口(年)	13億人(2006)	約4884万人(2006.6)	1億2776万7944人(2006)
首都	北京	ソウル	東京
民族	漢民族及び55の少数民族	韓民族	—
言語	中国語(漢語)	韓国語	日本語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教…	仏教、キリスト教… 社会・文化に儒教の影響が残る	仏教、キリスト教…
通貨	人民元	ウォン	円
1人当たりのGDP(年)	約2000ドル(2006)	約18372ドル(2006)	33100ドル(2006)
経済成長率	10.70%	5.00%	—
衣服	チャイナ服、チャンパオ →襟が立っている。 ポケットやボタン位置 など左右対称	チマチヨゴリ →膝を立てて座れるように 上下で分かれています	着物、袴 →襟を重ねる
食べ物	揚げ物・煮物など 必ず調理→ 生では決して食べない	焼物、味付けが 辛い物が多い→ 体温を上げるため?	生で食すのが 一番贅沢とされる→ 鮮度が落ちたら料理する
飲み物	お茶、漢方、紹興酒	お茶、マッコリ	水道水が飲める、日本酒
美意識	人工的に作られた 姿・形・ものを 美しいとする	そのままの姿・形・ものと 人工的作ったものが 調和する様を美しいとする	そのままの姿・形・もの を美しいとする
世界における位置づけ	大陸	半島	島国

8. 中国



中国歴史的住居

図3 四合院:

中心に「院子」と呼ばれる中庭があり、それを囲むように、左右対称に部屋が並ぶ。また、年長者の部屋は南が院子に面し一番環境用件が良いのも特徴だ。

院子：中庭

玄関入ってすぐ、リビングやダイニングに面し、これらのパブリックな空間はほぼ住居の中心に位置し、その奥南側に寝室がくる。

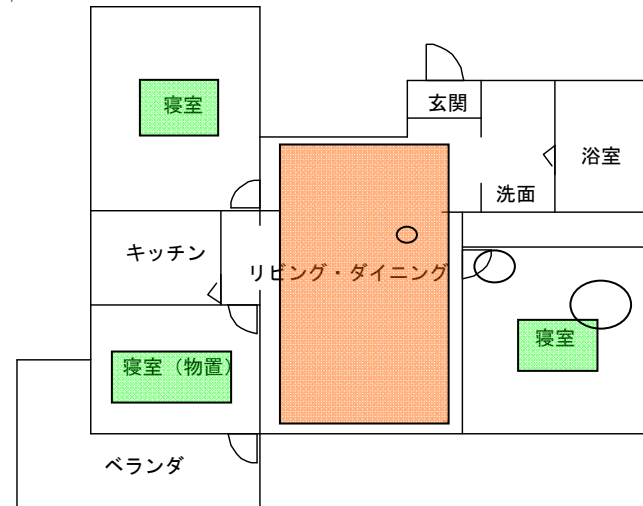


図4 現代における中国集合住宅の間取り

親しくなると家へ招き食事をもてなす中国的生活様式にあって

ヒアリングでは…

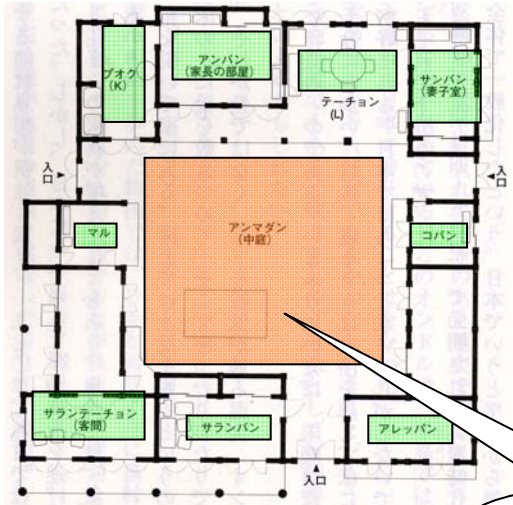
中国の住宅は **100㎡前後** が一般的！

今のマンションは **6つめ** で、中国では **広さを重視** して選ぶよ。

浴槽がついていても **シャワーを主に** 使うから入浴はしないな～。

マンションの内装は自分たちで決めるのが普通なんだ。

9. 韓国



韓国歴史的住居

図5 韓屋：
中心に「アンマダン」と呼ばれる中庭があり、それを囲むように、部屋が並ぶ。また、高麗時代には半島全体で「オンドル」と呼ばれる暖房設備が一般化していた。

アンマダン：中庭

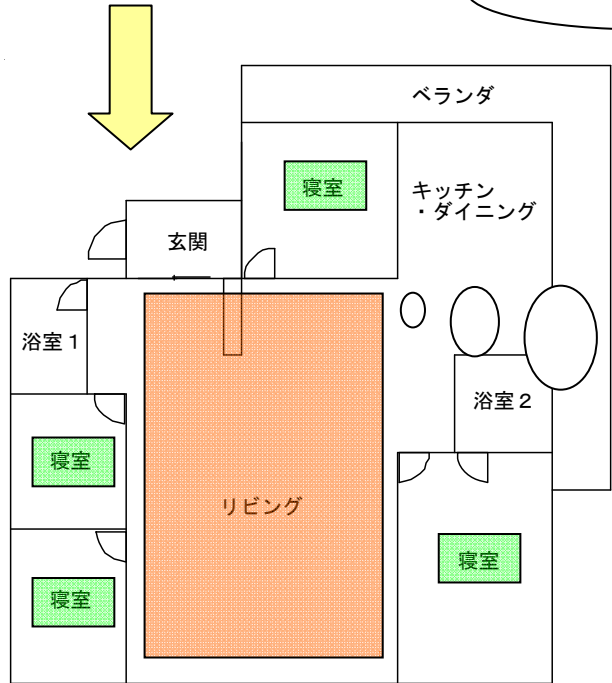


図6 現代における韓国の集合住宅の間取り

玄関入ってすぐにリビングやダイニングといったパブリックな空間が部屋中央に位置し、それらを囲うよう部屋が配置されている。また、オンドルも床暖房として残っていることがヒアリングから明らかになった。

ヒアリングでは…

日本の「マンション」は韓国では「アパート」で、日本の「アパート」は韓国で「マンション」だよ。

韓国では、住居はもちろん「**周辺環境**」を重視しているよ。

どの家庭にも **キムチ専用冷蔵庫** が必ずあるの。

入浴は入りたい時のみで、一人一人お湯を変えるよ。

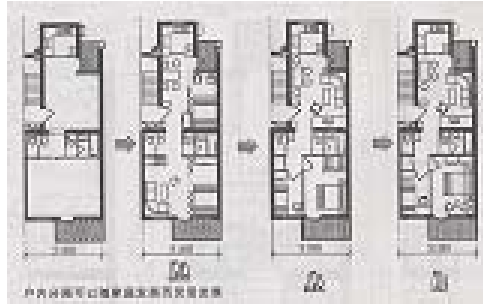
10. 日本との比較

日本と韓国のマンションでは仕上がった住居に入居するのが普通ですが、中国では購入時に内装（壁、ドア、便器、洗面台を除く）がなく自分たちで壁紙やドア、付いている便器や洗面などの設備でさえも新しいものに交換し作っていくのが一般的であることが明らかになった。



中国の玄関
内側は木製で、室内のドアと変わらないが、外側のドアは木製ドアの表面に鉄板を張り合わせたもの。

中国・韓国の玄関扉はともに2枚だが、中国は「防犯」のため。韓国は「防寒」のためと理由が違う。



中国のマンションの間取りの変化。購入時はもちろん、家族の変化（間取り図下）に応じてリフォームが一般的。⁹⁾



中国の浴室・洗面が別になった世帯の例

中国の浴室では浴槽があってもあまり使用しない。韓国では浴槽があるものの、「入りたい時のみ入浴する」「1人1人お湯を変えて入る」という入浴方法である。しかし、韓国の場合は入浴以外にも「洗濯時」「断水時の貯水」に使用しているために浴槽が付いているという研究成果もある。さらに文献では、浴室が2つある理由は3つあり、①浴室の使用時間が朝と夜に集中し1つでは不便であること②リビング・ダイニングなどの共用空間に必要なこと、③休息や健康管理、美容機能を目的とし設置していることなどがわかっている。

中国のベランダは外部空間にあたる世帯もあったが、ほとんどの世帯で室内空間として利用していた。室内空間として利用できることから、元の形態は外部にも窓があるサンルームのようであったことがうかがえる。一言でベランダといっても日本とは空間が違うが、ヒアリングの際も、間取り調査シートにも「ベランダ」と回答があり、日本とはベランダの感覚が違うことがわかる。また韓国のベランダも外側に窓がついたサンルームのような存在であることがわかった。さらにヒアリングから、キッチン側のベランダには洗濯機を設置しランドリールームのように使用していることが明らかになった。これらの違いを整理したものを表3に示す。

表3 中国・韓国・日本の集合住宅の違い

	中国	韓国	日本
住居	購入時に内装がなく、自分たちで作る	仕上がった住居に入居	仕上がった住居に入居
玄関	2枚	2枚	1枚
浴室	洗面・トイレ・浴室が一体型（浴槽無）	洗面・トイレ・浴室が一体型（浴槽有）	洗面・トイレ・浴室が独立型（浴槽有）
主なLDKの配置	LD型	DK型	LDK型
主な南側に来的部屋	寝室	寝室	リビング
ベランダの位置づけ	室内空間の一部	サンルームのような存在	外部空間

11. まとめ・考察

- 近年の中国・韓国の集合住宅の間取りを分析した結果、部屋の配置には歴史的住宅の影響が見られることがわかった。
- 土地の気候や文化背景、生活習慣も間取に大きく影響することから、住宅が生活文化によって造り出されたものであることを改めて認識できた。
- 住宅およびその周環境に対して求めていることは、国によって大きく異なる。またそれが価値観の違いにもなっていることがわかった。
- それぞれの国の自然的環境要因と人文的環境要因によってそれぞれ特性ある建築文化を形成し、現代に至ることを踏まえ、建築文化の全面的な面において中国は大陸性、韓国は半島性、日本は島国性であることが強く影響しているのではないと思われる。

12. 最後に・・・

本研究を行うにあたり、多くの皆様に協力をいただきました。データの提供や調査の協力をしてくださった学生課留学生担当の皆様、日本語研究の先生方に感謝致します。また、忙しい中、ご協力下さった留学生の皆様からお礼を申し上げます。

<参考・引用文献>

- 外務省：各国・地域情報、
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/index.html>、中国、2007.11.11
- トイトン（日本名；藤原素子）：生活文化における中国と日本、青葉書店、1987.5.17
- 矢部敬一：最新 中国がわかる本「第1章中国を知っていますか」創元社、2005.3.10
- 外務省：各国・地域情報、
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/korea/index.html>、大韓民国、2007.11.11
- 伊藤亜人：もっと知りたい韓国「風土と生活文化（p29～54）」弘文堂、1985.3.10
- Wikipedia：日本、<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC>、2007.11.11
- 社団法人日本不動産鑑定協会：H15年世界地価等調査結果 集合住宅地の住宅価格の都市間価格（基礎データ）から北京・ソウル抜粋、p15、2004.3
- 国土交通省：土地白書（平成18年度版）「第2章 土地に関する動向p125」、独立行政法人国立印刷局、2005.3.24
- レジャユウ：住宅公寓設計資料集 p321、中国電力出版社、2006.6